

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後サポートあいであ		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	実務経験豊富な職員配置。	専門性のある質の高い療育プログラムの作成ができている。	職員全体で質の高い療育を提供するため、経験の浅い職員に対しては研修機会を多く提供。実務経験豊富な職員の助言などを受け、チーム全体でのレベルアップを目指す。
2	将来に向けての自立活動や訓練等が行える。	職業体験の実施や、希望する職業の作業内容を早期段階で習得し、将来の視野を広げられるよう支援を行っている。	職業体験など受け入れの幅を広げていくため、地域事業者との連携強化。利用者のニーズに合わせた職業体験の実施を行っている。
3	戸外活動を多く行っている。	外での活動では、集団行動を意識し取り組んでいる。安全面や衛生面は全職員で配慮を行い、利用者がのびのびと活動できる場面の提供を行う。	地域資源、インストラクターからの助言を参考に、3人以上での活動を段階を踏みながら、4人、5人と増やしていきま

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が住宅街にあるため騒音等のトラブルで苦情が多い。	地域住民からの理解を得られないことや対策が不十分である。	地域交流の機会を増やし、事業運営について理解を深めてもらうことで、遮音などの環境整備に努める。
2	保護者との会話が十分に行えない。	お迎え時、玄関での会話で対応をしている。	職員室または談話室などの空間を設置し、保護者との情報共有の強化を図る。
3	職員の専門性向上。	研修等は実施しているものの、職員個人の専門性理解にばらつきがみられる。	職員一人一人のニーズに応じた研修会の実施を行い、職員間でのコミュニケーション力の強化。ロールプレイなどを多く取り入れ、チームで事例検討を行い、都度助言をする。